

島根県作業療法士会 令和5年度 第4回理事会 議事録

日時：令和5年11月18日（土） 13:30～16:35

場所：WEB会議

出席者：小林、陶山、石川、石田、岩根、奥野、岸、佐藤千、佐藤佑、田中、原田、福代、古田、堀江、
吉岡、角、板垣（委員会）、上野（委員会） 以上 18名

委任状：篠崎、森脇、岩本、秋吉、稲垣、立川、村上、 以上 7名

1.会長挨拶

組織力強化を目指す各都道府県と協会の役員意見交換会の予定があり準備していく。

2.報告事項

●推進局 広報部

：ホームページアクセス数について(10月分)

●教育部 学術部

：各種書式施行日10月1日とする。各書式に記載するタイトル統一「島根県作業療法士会学術誌」

3.企画事項

●専門部 精神科懇話会

：第1回懇話会12月8日開催予定 テーマ「精神科作業療法計画の立て方」

→承認

●専門部 福祉用具グループ

：「福祉用具展示会」について 時期・場所未定 集合型のセミナーを企画 来年度を予定

→承認

●専門部 脳血管障害チーム

：スプリント作成研修会 12月23日開催予定

→承認

●委員会 訪問リハビリテーション

：R5年度 実務者研修会 2024年1月14日開催予定

→承認

4.協議事項

●教育部 学術部

：学術誌投稿論文執筆時のフォロー体制の公募について。内容、開始時期は継続審議

→承認

●事務局 財務部

：2023年度中間報告

→報告

●福利部

：保険部・福利部合同アンケートについて 回収率、結果報告など保険部と継続検討予定。

→承認

●委員会統括

：オンライン研修のオンデマンド配信について ①オンデマンドあり・なしは各部長判断②ありの場合は期間を設定、ポイント付与なし③金額は状況による。継続検討し修正していく。

→承認

●委員会統括

：離島の方への交通費助成について ①対象：県士会活動に関するものすべて（運営スタッフとしての参加など）委員、部員②金額設定：実費換算した場合を算出するなど継続検討事項。公平性が保たれる根拠が必要。どのような支援が良いか継続検討。

→継続審議

●推進局 事業部

：サポーター会員制度の導入について 目的：現在、県士会役員・部員などで約2割の参画、その他8割の会員の士会活動への参画を促す。情報収集、アイデアを募りながら継続検討。

→継続審議

【各部局 2024年度事業計画】

●事務局 福利部

：①養成校卒業生に対する士会オリエンテーション②県士会交流会③秋に向けて体を動かそうスポーツ交流会④部会の開催 その他①永年会員制度②学会の託児所

●教育局 生涯教育部

：研修会申込方法を Peatix に変更。現在、部員4名であるが今後増員も検討。

●教育局 学術部

：コミュニケーションツールとして「Slack」を利用。進捗状況をガントチャートで共有し進める。

●教育局 専門部

：各チームの進捗状況を管理するとともに、次年度は新たな試みとして各チームとの合同企画「専門部マルシェ（仮）」を企画する。

●教育局 専門部 福祉用具 G

：生活行為工夫事業の広報活動を継続、コラボ企画開催。意見：移乗・ポジショニング方法など出前講座のニーズがある。リハ職のいない職場もあり普及啓発につながるのでは。

●教育局 専門部 精神科作業療法

：2020年度より web 環境を活用し、2～3 回/年の懇話会、1 回/年の研修会を開催。OT 協会の重点活動項目に沿った活動も行っている。2025 年には妙技研修を開催したい。

●推進局 広報部

：1. 機関誌「おおはいごん」発刊 2. 新広報紙「一般社団法人島根県作業療法士会」の発刊 3. 他士会部局への広報の援助・資料の提供 4. 協会広報部との連携・中国 5 県士会の各広報部との連携 5. 県士会ホームページ、各種 SNS の管理

●推進局 事業部

：①作業療法フェスタ東部、西部開催②士会ノベリティグッズの作成③作品を販売できる企画④サポーター会員制度

【特設委員会 2024 年度事業計画】

●MTDLP

：協会目標値（履修率）基礎研修 60%、実践者研修 30%、指導者 2%。次年度は実践者研修の参加者増を図りたい。

●認知症の作業療法

：来年度の研修会を集合形式で企画。多職種連携または地域内での連携によるケアの方法について。

●地域支援事業

：市町村コーディネーターと、しまねリハネットワークとの連動を検討し発信していく。地域で活躍できる実働部隊の育成について、研修会や見学等の取り組みを考えていく。

●訪問リハビリテーション

：県内の訪問リハビリ状況（事業所配置状況や実施領域の把握、従事者の把握）が把握できていない現状がある。来年度は名簿作成を視野にいれながら県内の状況把握が出来る体制づくりを検討する。

5.委員会より

●上野委員

：OT 同士、また他職種とのつながりが図れるように進めていきたい。

●板垣委員

：時間をかけ協議しながら活動が行われていることが分かった。士会員の参加しやすさを。今後も協力していきたい。

6.監事より

●吉岡監事

：どうやったら 500 名を超える会員が関心を持って活動に参加してもらえるか。皆が変化するためにどうすると良いのか。入口づくりの検討も必要。

7.会長より

：士会員の参加が増えるよう引き続き取り組む。地域の人に OT 一人一人の持ち得る How to が伝わる仕組みとなれば良い。

=====
次回 令和 5 年度（2023）第 5 回理事会

日時：令和 6 年 1 月 20 日（土）9：00～12：00

場所：WEB 会議

内容：各種協議事項 2024 年度事業計画
=====